

Renadyl

ーレナディルー

ご相談 & 取扱ガイド

「腸腎相関」に着目した高濃度プロバイオティクス
おなかからの新習慣

本シートの目的

本資料は、愛犬・愛猫の健康管理において世界的に注目されている「腸腎相関(ちょうじんそうかん)」メカニズムに着目した、高濃度サプリメント「レナディル(Renadyl)」のガイドです。

日頃のコンディションチェックや給与計画について、かかりつけの獣医師の先生にご相談される際のコミュニケーションツールとしてご活用ください。

1 レナディル(Renadyl)の圧倒的な3つの特長

腸腎相関

①「腸腎相関」アプローチに基づき開発された米国製パイオニア処方

体内に留まりやすい不要な成分へアプローチするため、「腸腎相関」のメカニズムを研究・応用して開発された特許取得プロバイオティクスです。

450
億CFU

② 1カプセルに450億CFUという最高峰の生菌密度

厳選された3つの特許善玉菌を、1カプセルあたり450億CFU(生菌数)という圧倒的な高濃度で配合。

約3倍

③ 従来品(150億CFU級)の「約3倍」の菌数を1カプセルに凝縮

1カプセルあたりの菌密度が非常に高いため、毎日の給与カプセル数を最小限(1日1~2粒程度)に抑えられ、ペットと飼い主様の給与ストレスを激減させます。

2 配合成分とメカニズム

3つの特許善玉菌による「選択的同化・消費」

体内で発生する特定の不要成分に対し、強い親和性（ターゲット性）を持つ3つの特許菌株を厳選選定しています。

配合菌株と生化学的アプローチ



S. サーモフィルス

KB19

窒素系成分（尿素等）を好み、自らの栄養源として迅速に消費・利用する特徴を持つ特許菌株。



L. アシドフィルス

KB27

体内の代謝過程で生じる特定の不要物をターゲットとして捉え、自らの中に取り込みます。



B. ロンガム

KB31

腸内の腐敗産物の増加を抑制し、腸管バリア機能をすこやかに維持します。

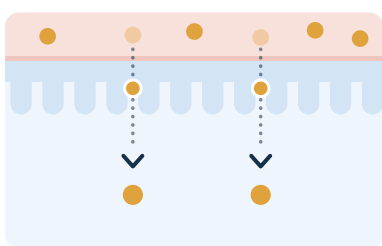


プレバイオティクスとの相乗効果（シンバイオティクス）

「イヌリン」と「キシロオリゴ糖」を同時配合。菌のエサとなり腸内での定着・増殖効率を飛躍的に高め、絶え間ない“腸内クレンジングプロセス”を維持します。

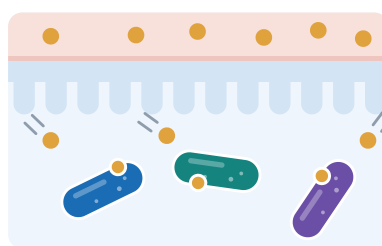
3 アプローチの仕組み（腸を「排出ルート」として活用）

体内で不要となった成分は、コンディションの変化に伴い腸管内へ滲出してきます。レナディルは「腸腎相関」に基づき、腸をダイレクトな排出ルートとして活用する新発想のアプローチです。



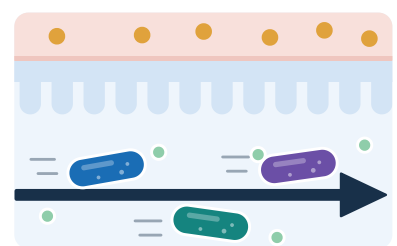
1 不要成分の腸管移行

体内で発生した不要成分が腸管粘膜を通じて腸内へ滲出。



2 善玉菌による同化・消費

大腸に到達した特許菌株が、これらの成分を自らの「栄養源（窒素源）」として取り込み、素早く代謝・消費。



3 スッキリ体外排出

処理された成分は有用物質へ変換されるか、生菌とともに便として体外へ安全に排出されます。



結果として、体内めぐりのクリアな環境づくりと、身体への負担軽減をサポートします。

4 確実に腸へ「届ける」ための給与指示

 原則：カプセルのまま給与してください

特殊「腸溶性耐酸性カプセル」の重要性

生菌は胃酸に非常に脆弱です。本製品は「胃酸で溶解せず、ターゲット部位である大腸で初めて溶ける特殊腸溶性カプセル」を採用しています。

カプセルを開封してしまうと強力な胃酸によって菌の大部分が失われ、本来のパフォーマンスを発揮できなくなります。効果を最大限に引き出すため、なるべく開封せず給与してください。

胃

胃酸で溶解せず



大腸

大腸で初めて溶ける



スムーズに与えるための工夫

経口給与が難しい場合は、少量の「バター」「クリームチーズ」等でカプセル全体を包み、喉通りを良くしてそのまま吞み込ませる方法が効果的です。

どうしてもカプセルを開けて給与せざるを得ない場合

単に食事へ振りかけるのではなく、少量（ティースプーン1杯程度）の脂肪分が多いペースト状おやつ等にしっかりと包み、胃の通過を早める工夫をして与えてください。



抗生剤併用時の注意点

抗生物質は善玉菌も攻撃してしまうため、抗生剤投与とレナディル（Renadyl）の給与時間は**4～5時間以上**間隔を空けてください。

5 体重別の給与目安（給与数削減のメリット）

高濃度処方（450億CFU/カプセル）のため、従来の製品に比べ給与数を大幅に減らせます。

2.3 kg 未満



1日 1/2カプセル
(又は2日に1カプセル)

1回で十分な菌数を
確保（獣医師と要相談）

2.3 kg ～ 4.5 kg



1日 1カプセル
(1日1回)

1日1回の給与で
完結し、負担を半減

4.5 kg 超



1日 1～2カプセル

毎日の給与数を大幅に削減

※実際の給与量につきましては、直近のコンディションを踏まえ、かかりつけの獣医師の指示に従ってください。

6 かかりつけ医へのご相談用メモ

診察時にスムーズな対話を行うため、事前に以下をご記入の上、先生へお見せください。

● ペットのお名前・体重

_____ / _____ kg

● 直近の健康チェック値（ 月 日 ）

BUN

CRE

IP

SDMA

● 現在実施中のケア・併用薬・療法食

● レナディル(Renadyl)導入のご相談(腸胃関連アプローチについて)

現在のケアプラン・投薬との併用について

開始初期の推奨給与量：1日 _____ カプセル

7 保管および取扱指示 (生菌の力価を守る)

生のプロバイオティクスの「圧倒的な生菌数」を維持するため、厳格な温度管理をお願いいたします。



要冷蔵保管(4℃～8℃)

製品到着後、速やかに冷蔵庫へ保管してください。



凍結厳禁(冷凍庫不可)

凍結は菌の細胞壁を破壊するため絶対に行わないでください。

8 先進の防湿バイアル容器 (Activ-Vial™)



ボトル内壁自体に吸湿・乾燥機能を組込んだ特殊構造を採用。外気の湿度や酸素を強力に遮断し、デリケートな生菌を常に最適な状態に保ちます。



※レナディル(Renadyl)は健康維持を目的とした栄養補助食品(サプリメント)です。疾患の治療や既存の医薬品の変更・中止につきましては、必ずかかりつけの獣医師の診察およびご指示に従ってください。

輸入・販売元：合同会社 未来エッセンシャルズ (<https://mirai-essentials.com/>)